

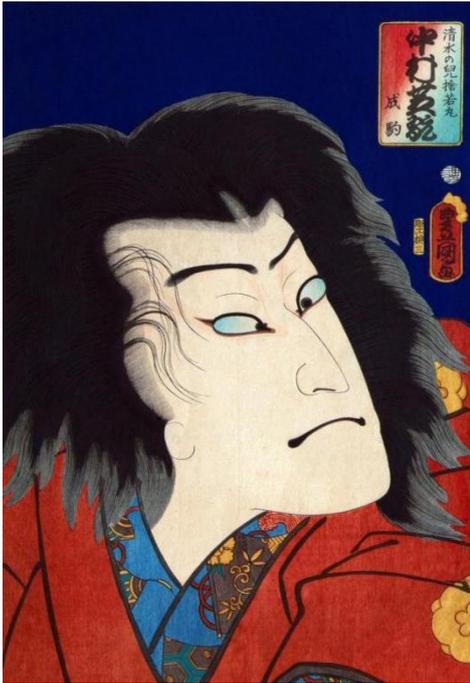
2月  
新講座

日程変更版

# わかるともっと楽しい 浮世絵鑑賞法

徳川美術館副館長  
国際浮世絵学会常任理事

神谷 浩



【開講日】 第4月曜 13:00~14:30

【受講料】 9ヵ月(6回)分 15,300円+税

※3~5月休講のため日程変更がございます

【持ち物】 筆記用具

「美人画は歌麿」「役者絵は写楽」などと決めつけていませんか。さまざまな画題で切り口を設定、横断的に見ていくことにより、これまで気付かなかった作品の魅力を見つけていく浮世絵講座です。数ある浮世絵師のなかで、お気に入りの絵師や作品を見つけるきっかけになる「美人画」「役者絵」「風景画」「戯画」「武者絵」「怖い絵」六つの切り口を用意しました。どうぞお楽しみ下さい。2月から始まり休講をさみ6~10月までの9ヵ月(6回)講座です。

歌川国貞 四代目中村芝翫の清水の児捨若丸(役者絵)

## 2020年2・6~10月 カリキュラム

2/24	それぞれの風景画	ともに風景版画家として知られる北斎・広重ですが、赤富士など人物なしで風景を描ききる北斎と、デッサンは心もとなくとも人の姿を描き込んで滋味にあふれる景を作り上げる広重。実際、どんな風に違うのでしょうか。
6/22	戯画を楽しむ	役者絵も美人画も、人びとの関心事を提供するものでした。楽しみという点では、戯画も同じです。日本美術に古くからあった戯画は、江戸時代後期の浮世絵のなかでさまざまな展開を見せていくことになりました。
7/27	怖い浮世絵	「怖いもの見たさ」。見たくないけど見てみたい。誰でも持っているこの気持ちを刺激するように、浮世絵ではさまざまな怖い作品が見られました。浮世絵以外の怖い幽霊画、妖怪画もあわせて紹介し、暑い夏の冷氣にしようと思います。
8/24	美人画の楽しみ	美人画は常に浮世絵版画の主役でした。しかし、浮世絵誕生の当初は墨一色の単純な版画でしたし、幕末から明治になると、多くの色を使った精巧な版画になります。そのときどきの浮世絵師はどのように工夫していったのでしょうか。
9/28	役者絵の魅力	芝居を演じる役者を描く役者絵は、芝居のストーリーよりも、俳優その人への憧れがあって描かれたものです。初期から幕末明治まで、あこがれの俳優はどのように描かれていったのでしょうか。
10/26	武者絵さまざま	昔の戦記物や伝記を脚色した物語は歌舞伎で演じられ、講談で語られたものです。江戸時代後期になると、そうした物語の英雄が勇躍する姿を描く武者絵が盛んになりました。国芳を中心にした武者絵を楽しみます。

※受講料には維持管理費が含まれています。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。

※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。

中日文化センターへ

初めてご入会される方は、

別途登録料(500円+税)が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

0120-53-8164

10:00~19:00(日曜日は17:00まで)